

長和町公共交通審議会会議録

日時：令和5年11月20日（月） 18:30～

場所：長和町役場 第5会議室

出席者 森田公明委員（長和町議会議長）、原田恵召委員（長和町議会総務経済常任委員会委員長）、芹沢 廣委員（古町自治会長会長）、小池隆吉委員（長久保自治会長）、小口泰司委員（和田自治会長）、和田勝也委員（長門小学校PT事務局会長）、清野一也委員（依田窪南部中学校PT事務局会長）、安藤一登委員（長和町シニアクラブ連合会会長）、柳澤敏博委員（長和町身体障がい者福祉協会会長）
高見沢高明（副町長）、藤田健司（総務課長）、遠藤 剛（総務係長）

欠席者 柳沢孝委員（大門自治会長会長）、田中潤一委員（和田小学校PT事務局会長）

1 開 会

藤田総務課長

2 長和町公共交通審議会設置要綱について

藤田総務課長より資料に基づき説明

3 正副会長の選出について

藤田総務課長より説明

委員からの互選により

会 長 原田恵召総務経済常任委員長

副会長 高見沢高明副町長

出席者全員から順番にあいさつ

4 協議事項

原田会長 議事進行

(1) 長和町巡回バスのこれまでの経過について

別紙資料2ページから12ページについて説明

質疑特になし

(2) これからの巡回バスについて

別紙資料13ページから20ページについて説明

質疑

委員：14 ページでは中央病院検討中となっているが 20 ページでは行かれますとなっているがどう言う事か。

事務局：14 ページは料金のご説明で 20 ページは運行エリアの事となっております。料金についてはジェイアールバス関東株式会社の 4 乗路線との絡みもありますので、検討中とさせていただきます。

委員：デマンドシステム等の導入費用について、現在の委託料の中に含まれているのか。

事務局：含まれておりません。12 月議会で補正予算を予定しております。

委員：システムの導入費用はどの位か。

事務局：200 万円は超えていないが、手元に資料がなく後日報告します。

委員：コールセンターはジェイアールへ設置するのか。

事務局：ジェイアールへの設置を検討しています。

委員：会員登録は必要か。

事務局：会員登録の必要はありません。別荘地内などの場所によっては番地で検索できない場所が想定されますので、その場合、事前登録いただいたほうが予約時の手続きが簡単ですので事前登録を想定しています。

委員：携帯電話アプリの内容は見せてもらえるか。

事務局：デマンドシステムが決定すれば可能です。

委員：5 台を運行することだが、拠点はどこを考えているのか。

事務局：導入を検討しているデマンドシステムは事務局 I による管理ですので、常に車両が最適な運行を行っている状況になっていますので、どこを中心にするという考えはありません。ただ、ジェイアールバス長久保営業所が車両基地となります。

委員：常に 5 台が運行していて、令和 5 年度予算額でデマンド運行費用が足りるのか。

事務局：事務局ではデマンドバス化となった場合の方が運行距離が減少すると考えていますので、予算は足りると考えています。

委員：停留所はどうなるのか。

事務局：停留所の概念はなくなりますが、停留所がなくなるわけではないので、デマンドバスに移行した後も、乗り降りの場所として指定していただければご利用可能です。

委員：スクールバスはデマンドバスとは関係なく運行するのか。

事務局：これまでどおり運行します。

委員：何時から何時という運行時刻の設定はあるのか。

事務局：ジェイアールバスと運行時間帯について検討してまいります。

委員：およその運行時間帯はあるのか。

事務局：9 時から 4 時を想定していますが、もう少し広げられるようジェイアールバスと調整いたします。

委員：スクールバスはあるが、小中学生がアプリを入れて迎えに来てと予約できるのか。

事務局：携帯アプリからの予約については、予約者が小学生か中学生かは判断していないと思われますので、予約できると考えます。

委員：部活が終わったから迎えに来てと予約できるか。

事務局：運行時間帯の中であれば可能です。

委員：土日の運行はどうなるのか。

事務局：これまでどおり運行予定です。

委員：携帯のアプリで申し込むようだが、出来るだけ簡単な手続きで予約できるようにしてもらえないか。

事務局：基本的には携帯電話でも固定電話でもコールセンターへ連絡いただければ予約できます。

委員：今まで運行している高校生などが乗っている4条路線はどうなるのか。

事務局：いままでどおり運行する予定です。

委員：予約状況で10人以上予約が入って乗れなかった場合はどうなるのか。

事務局：AIが常に予約状況を把握しており、乗車人数も判断していますので、乗れなかったという状況は想定していません。AIが判断して満車の場合は次のバスが配車されることとなっています。

委員：社協で運行しているなっちゃん便などのように例えば佐久平駅方面などへの運行も考えているのか。

事務局：現状の運行エリア内での運行を予定しています。今後、社協とも協議していく必要があると考えています。

委員：車いすなどの利用者は検討しているのか。

事務局：今後の課題として検討して行く必要があると考えています。

委員：ドアツードアでとのことだが、細い道は10人乗りのワゴン車では入って行かない場所もあると思うが検討しているのか。

事務局：旧中山道の宿場周辺等かなり細い道路がありますので、今後小型車両の導入を検討しています。

委員：入って行かない場所はどこで乗り降りするのか。

事務局：予約された方のお近くのワゴン車が入って行かれる場所での乗り降りをお願いします。

委員：料金で75歳以上は半額とあるが、何か証明するものを提示する必要があるのか。

事務局：何かしら提示する必要があると考えていますが、バス券などを購入いただくなどして、これまでどおりご利用いただければと考えています。

委員：その件について、事務局Iに75歳以上の判定や障がい者手帳をお持ちの利用者など事前登録できないのか。

事務局：AIシステムが決定したところで、システム業者と協議してまいります。

委員：事前登録しなくても、該当される方たちにバスの回数券を購入してもらうこ

とで対応できるのでは。

事務局：事前に購入いただくことで対応可能ですので、その方法を検討してまいります。

委員：予約人数の5人の根拠はなにか。

事務局：システムの設定と思われますので、システムが決定し次第調整してまいります。

(3) 今後のスケジュールについて

別紙資料 21 ページについて説明

質疑

委員：次回の審議会はいつ頃を想定しているか。

事務局：年明けを想定しています。

委員：パブリックコメントを早めに行い、意見を伺い、反映できるところは反映し取り組んで行くということによいのか。

事務局：そのとおりです。

委員：令和6年4月から試験運行を行うが、1か月後などに運行を見直すなどは可能か。

事務局：可能です。

委員：学者村などの住民の方の意見は、以前の学者村の会議で別荘係が窓口となって取りまとめや意見集約を行うとしているが、デマンドバスのその方法によいのか。

事務局：その様をお願いします。

質疑応答終了

会長より

新公共交通体制として運行している巡回バスをデマンドバスの運行に移行していくと
言うことでご了解いただいてもよろしいでしょうか。

出席委員全員 了解

5 その他

会長

傍聴された方で意見等ありましたら事務局までお願いします。

6 閉 会